

令和3年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告書

名寄市議会では、議会及び議員の活動について理解を深めてもらうとともに、市政全般にわたって、議員及び市民が意見を交換するため、「市民との意見交換会」を年2回開催しています。

今回の意見交換会は、1班体制（18名全員出席）とし、7月12日、13日の2日間、市内2会場で開催しました。開催に当たり、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示したほか、市内報道機関に対する記事掲載・ラジオ放送の依頼、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し、参加を呼び掛けました。また町内会長をはじめ町内会の役員の皆さんにも周知にご協力いただくなど、ご協力くださいました多くの関係者の皆さんに心からお礼申し上げます。

今回の意見交換会には、延べ38名の参加がありました。ご参加いただき誠にありがとうございました。

ご参加の皆さんからは、新型コロナウイルス感染症対策、名寄振興公社、王子マテリア株式会社名寄工場、公共交通網、名寄高校、スキー場、議員定数などに対して、ご意見やご要望などを数多くいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

お寄せいただいたご意見やご要望などについては、正副議長・議運正副委員長が行政に対して、本実施報告書により情報提供を行うとともに、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせします。

今後とも「市民との意見交換会」を開催することで、市民の皆さんとの情報共有を進め、市民の皆さんの貴重な声を政策提言できるよう努めてまいりますので、ご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

結びに、市民の皆さんが将来に希望を持てる名寄市の実現に向け、「市民に開かれた議会」を基盤とし、これからも議会運営及び議員活動の活性化を図ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。



【出席議員の所属体制】

- 東 千春（議長、市民福祉常任委員会委員）
佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員会委員）
塩田 昌彦（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員）
倉澤 宏（議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員会委員）
高橋 伸典（総務文教常任委員会委員長、議会報特別委員会委員）
山崎真由美（総務文教常任委員会副委員長、議会報特別委員会副委員長）
高野美枝子（市民福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
東川 孝義（市民福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
山田 典幸（経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
佐久間 誠（経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
川村 幸栄（議会報特別委員会委員長、市民福祉常任委員会委員）
黒井 徹（総務文教常任委員会委員、名寄市監査委員）
清水 一夫（総務文教常任委員会委員）
遠藤 隆男（総務文教常任委員会委員、議会運営委員会委員）
五十嵐千絵（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
富岡 達彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
今村 芳彦（経済建設常任委員会委員、議会運営委員会委員）
三浦 勝秀（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）



【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

7月12日（月）ふうれん地域交流センター 参加者11人

◆新型コロナウイルス感染症について

問 フロンティアハウスに入所されている方が、コロナ禍で外出できない状況が続く閉塞感が出てきている。もう少し幅をもったゆとりのある方法で進めてもいいのではないか。

答 コロナ対策については、国と道が所管で上川地方は名寄保健所の管轄になっており、名寄市は名寄保健所の指導を受けたり相談したりしながら対応している。当初名寄はあまり感染者が出ていなかったが、緊急事態宣言が出た辺りから名寄市も24名くらい出てしまい、また厳しくなった。今また感染状況も低くなってきているので、市の対策本部で検討しながら対応しているところだが、1件でも出ると大変なことになるし、集団施設なのでご高齢の方には申し訳ないが命を守ることが一番大切なこと。北海道にも、札幌も名寄も同じということではなく、感染状況に応じた対応でも良いのではないかと言いつけているが、なかなか思うようにはならない。これからも努力していく。

問 コロナワクチンの接種状況について、どれくらいの対象者がいて、どれくらいの方が終わっているのか、また、強い副反応が出たという事例があれば教えほしい。

答 コロナワクチンの接種状況について、今のところ65歳以上の1回目の接種率は、7日現在（NHK報道による）で、名寄は89.5%道内で一番となっている。接種状況については、まだ集計が終わっていない。64歳以下の接種券も順次郵送で配達され、年齢区分も3つのグループに分けて予約を受け付けしていく。副反応については、個人差がある。

問 コロナの感染者について、公共施設とか公務員などは公表されるが、一般市民の感染者はいるのか、予防の観点からもそれだけでも知りたいが、難しいことなのか。

答 1週間に1回名寄市何名ということで報道されると思うが、やはり誹謗中傷が多すぎるとのことで、細かく公表することは難しい。名寄市は保健所の指示により公表しているので、市だけでは難しい部分がある。

◆議員定数について

問 アンケートの結果を見ても、将来を背負っていく若い人たちの意見が非常に少ないと思う。人口が減っても面積は減らない。仮に市内の端でも名寄市であって、議員の人数が減ることで議員が果たしてそこまで走り回れるのか少し疑問に思う。そういうことも考えて特に若い人たちの意見をもう少し上手に吸い上げることを考えて、まちづくりを行ってもらえればと思う。

答 名寄市には諸課題がたくさんある。話しがあったように、減ることによって市民の皆さんの意見が行政に届かなくなるという懸念もあった。市民の皆さんの意見も

しっかり聞きながらという部分ではアンケート調査も実施した。議員一人ひとりの資質の向上を含めて、それらをどのように受け止め、今後進めていくのか等さまざまな議論を重ね、結果このような形の報告となった。

また、どのような形で若い人たちの意見を聞いていくのかというのは難しいところではあるが、名寄市立大学の学生と意見交換をする機会を作ってきたことはある。今期の議員の年齢が30代40代50代60代とバランスよく構成されているので、その交流関係等からいろんな情報を得られ議会に反映できるのではないかとも思っている。

◆なよろ温泉サンピラーの改修について

問 サンピラー温泉の改修について、いつどういう形で改修するのか知らせてほしい。

答 令和3年度の当初予算案の中でなよろ温泉整備事業として、修繕料200万円、実施設計委託料1,500万円、併せて1,700万円を今年度で計上している。令和3年度中に実施設計を行って早ければ令和4年度から工事に着手するという予定で進んでいる。

問 まだ1年着工できないのであれば、人が入っても恥ずかしくないような施設にするために、若干費用をかけてでも一部改修等をするべきだと思うが。

答 利用する皆さんからは、サンピラーの特に浴場の関係はご指摘ももらっている。具体的にどのような形でというのは、まだ議会に対しても報告はないが、行政側としても実施設計が整った段階で、市民の皆さんにも公社の状況等も含めて報告は必ずあると思うので、市民の皆さんにはもう少し我慢をいただく期間が若干でてくると思うが、今年度実施設計を着手するという状況であるので、ご理解いただきたいと思う。改めて市民の皆さんから早期改修を願う声があったということで、行政サイドには申し伝えたい。

◆公共交通網について

問 東風連地域は、最近バス路線の変更と、今後の東風連駅移転ということも含めて地域としては、公共交通について非常に厳しい状態になっている。行き帰りとも1便ずつで、ハイヤーを利用しているが、今後、他の地域のことも考えるとデマンドのバスも含めて利用を考えていかないと、利用時間も制限されて厳しい。風連の街へ行くだけでなく、名寄の病院だとかお店に買い物に行くとか、そういう利便性もお年寄りには重要になってくると考えている。

答 バスが走っていない空白区というのは、その住民の方々は大変苦労されていると思うので、今回委員会で調査研究をしていこうという事で進めている。今現状がコロナ禍のため、皆さんのところへ行って話を聞こうと思ってはいたが取り組めなかった。しかし、少しコロナ禍も収まってきたので、現実にやれるかどうかは厳しい状況であるが、総務文教常任委員会の委員が苦労されている方のところへ行って話を聞き、少しでも行政と協議できる形をとっていきたい。ここでデマンドが東風連地域にできるかどうかというのは、なかなか答えられないので、しっかり皆さんの声を行政に伝えていく。

意 デマンド関係公共交通については、今すぐどうこうしてくれということではないが、何年も前から言われている話であり、当然地域の中で高齢化が進むというのは目に見えていることなので、何かの形で改善していく方向は、議会として努力して

いただきたい。

◆老人クラブに対する福祉バスの利用について

問 非常に申請が面倒である。パソコンができない人はまずできない。また、その申請書に一か月前に出席する人の名簿を載せて提出するようにとある。矛盾だらけなので、なんとか改善の余地はないのか。

答 市民の方が困っているのだから、担当と相談して回答する。数年前にある町でバスの事故があり、それから厳しくなった。当事者が管理をしっかりとすれば、代表者が誰で何人という名簿を今の時代あえて提出する必要があるのかとも思うので、議会として健康福祉部と打ち合わせの時や、委員会もしくは、市長に申し入れを行う時に参考にし、改善を図れるように努力したい。

◆有害鳥獣について

要 熊の出没が多く、農村部では非常に厳しい状況が続いている。最近の熊は、夜型ではなく昼型になり明るいときに出てくるので、人的被害や農産物の被害が起きると大変なことになる。有害鳥獣については是非市としても力を入れてほしい。その辺の対策は十分にしてほしい。議会の方からも是非強い要請をお願いしたい。

答 言われるようにこれからまた増えてくる時期に入る。道内全域では都市部でも特に札幌市街でも住宅街に出没したり、福島町では大変痛ましい事故もあった。地域でも他人事ではなくヒグマ対策を行い、今日できることやるべきこと、それをどう行政側が啓発活動も含めて評価して、今後出没が多くなる地域に向けてどのように取り組むのか。伺った意見をしっかりと所管の職場に伝えたい。

◆意見交換会について

問 農協青年部とか若い農業後継者の方たちとの意見交換とか、町内会に出向いて、年に2回でも3回でもいいので、小規模のグループで身近な話し合いをできるような機会を作ってほしい。

答 以前、4班に分かれていくつかの町内会を回った時がある。今年度いっぱいはいはコロナ禍でなかなか厳しい状況にあると思うが、来年度は是非そういうことを実現して、皆さんの声をしっかりと市政に伝える役割を果たしていきたい。

問 開催時期について、当初計画されていた5月下旬の意見交換会というのは、定期的に厳しい。農家の方にも参加してほしいのであれば、5月下旬というのは田植えの盛り、様々なものを作付する時期だと思う。全員良いというところはないと思うが、コロナでずれてしまった7月の方がもしかしたらよいかもかもしれない。

答 意見交換会は議会改革の中で複数回実施しようということで、現在は年に2回実施をしている。やはり農繁期の時点での開催はなかなか難しいのではないかと議論はしている。もう一つは、予算委員会が3月にあり決算委員会が9月にあるということで、予算決算に関わる報告も併せて実施をしたいという考えもあり、時期に関してはそれらを考慮しながら進めている。また、開催方法としては、多くの皆さんから様々な質問を伺えるように議員を2～3班に分けて小規模で開催している。今回は、議員定数の関係もあり全員で参加した。

◆旧農産廃棄物処理場について

問 旧風連地区のゴミ施設の解体だが、7月くらいから解体工事が始まるようなことも新聞に書いてあったように記憶しているが、そのことについて聞きたい。

答 旧農産廃棄物処理場の解体だが、令和3年度の予算に1億617万円計上されており解体の着工に入っている。こちらについては、ダイオキシン、アスベスト等も含まれている可能性もあるので、そういった有害物質を飛散しないような適切な処置を講じたうえでやっていく。

◆スキー場について

問 名寄市のスキー場は、名寄ピヤシリスキー場と風連スキー場の2か所がある。名寄のスキー場もここ数年でみるとスキー人口が減っているということもあるが、学校授業の回数も激減している。地元のスキー場の利用増加を図るのであれば、2つあるスキー場を上手く連携して使えないものか。例えば、低学年のうちはリフトに乗れなく苦勞をしている子もいるので、名寄の学校でも低学年の子は風連のスキー場に行くとか、現状としてスキー授業をスキー学校の先生が受け持つことが増えているので、風連のスキー場でやる場合はその先生をどうするか、という問題はあるかもしれないが、2回あるうち1回でも行うことができないか検討してほしい。

答 現在スキー人口は減っているが、今年はピヤシリスキー場に多くの方が来た。小・中学校のスキー授業の件だが、おそらく2～3回行く。その中で初めてピヤシリスキー場に行って嫌いになった方、また2回の授業のためにスキーを買わなければならない方、幼稚園の時から小学生になったら皆と一緒に滑れるようにとピヤシリスキー場に行かせている方等、様々な声を聞く。学校によっては、ピヤシリスキー場に小さい山を作って低学年が練習しているところもある。今伺った低学年を風連スキー場でという意見は、教育委員会に伝えていく。

◆王子マテリア(株)名寄工場について

問 王子マテリア(株)名寄工場が撤退する事が明らかだが、おそらく議会としても理事者側と様々な協議をしているだろうが、具体的に議会としてはどういう形の中でいろいろな方面に働きかけているのか。名寄市のこれからの将来的な展望も踏まえた中で議会としてどういう形をとろうとしているのか教えてほしい。

答 新聞報道等で報じられている範囲の答えになってしまうかもしれないが、様々な案が出ている。

1つには、再生可能エネルギー。もう1つは、現実的には難しいかもしれないが、データセンター誘致。もう1つは、物流の拠点化。名寄に大きなターミナルを作ったという新聞報道が出た。そのとおりではないかもしれないが、物流の拠点化は実際に民間でもなんらかの形で変化が出てくると思う。

昨年からヤマト運輸の社員を一人派遣してもらっており、この内陸部だけの荷物の流れではなくて、オホーツク海、稚内、日本海の方などではどういう物が、どういうルートで本州の方に届いているのかなどを調査している。

◆駅の移転について

問 駅の移転はいつ頃なのか。

答 駅の工事は名寄市で発注するものではない。JR側が発注して行うものなので、発注時期とかその後のことはまだこちらには連絡は来ていないが、現在改修工事も併せて行っており、今年度中に完成し来年4月には運行できるように着工している。

◆経済建設常任委員会の名寄商工会議所との意見交換会について

問 経済建設常任委員会で昨年度に名寄商工会議所との意見交換会を実施したということだが、会議所の出席者は商店の方なのか、それとも役員も含めた方々なのか。

答 昨年、令和2年1月に実施。商工会議所で出席した方は、会頭、副会頭、専務理事と事務局長、そして委員会のメンバーで意見交換をしている。私達委員会は、「産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて」をテーマとし、商工業の基本計画に関して審議会でも市でも答申を受けたときに計画があるので、今後具体的に深く議論していくことになると思うが、市内の商工業の状況を伺う中で、委員会と業界の共通認識は図られたという内容の意見交換会である。業者などがこの時の意見交換会には参加していない。

◆コロナ禍における経済対策について

問 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている名寄市の飲食業関係や宿泊業関係を救済するために様々な支援をしているが、本当に大変な思いをしている。外から人を呼べないのであれば、市の中で完結できるような経済の回し方を考えてもらえないか。例えば、施設利用者等にアンケートをとり地元のホテルに一泊してもらい、そのために市から補助するとか、1週間にこの曜日だけは1時間延長して営業してもいいだとか、検討の余地があれば是非検討してほしい。

答 感染状況を見極めながら経済を回すことも並行して考えていかなければならないと、行政側も考えている。今後はどう消費喚起していくか。言われるように市で完結できるような経済の活性化策を今後行政側にも状況をみて検討するよう、そういった意見があったことを伝えていくのと、私達も伺った意見を基に提言していく。

7月13日（火）駅前交流プラザ「よろーな」参加者27人

◆議員定数について

問 18名から16名にするという説明を聞いたが、議員定数は財源だけの問題ではないだろうと思っている。どのような形で検討したのか説明をお願いします。

答 議会改革の視点だけではなく市政の現状と課題なり、将来の予測と展望というようなことも議論しながら、そして、市民の皆さんからの意見を伺うという形でアンケート調査を行い多くの方から回答をもらった。その中で議員一人ひとりの活動そのものがよく見えないという意見も多くあった。それらについてもしっかりと受け止めながら議会の中で協議をしてきており、それらを踏まえたうえで今回この結果に至った。

問 18名でも果たして市民のニーズが市政に反映されているのかどうか、非常に疑問に思っている。議会活動そのものが市民に伝わってこない。16名になると委員会の人数が減り審査に問題が生じないのかと危惧している。

答 私達も常日頃からそこを十分に留意しながら活動したいと考えている。議員の活動が見えないというのが、最大の私達のテーマと考えている。例えば、かつては委員会付託された条例案等を審査して報告をするというのが主な役割だったが、現在は、それぞれの委員会が独自のテーマを持って調査をし、市に対して要望や提案をしていこうという取り組みを進めている。これは前の期から始まっていることだが、

この辺もなかなか市民の皆さんに浸透していないところだと思っている。

問 議員の削減についてだが、議員の皆さんは一生懸命毎日頑張っていることは目に見えて分かっている。私が疑問に思うのは、削減される2名の議員の活動の部分はどこに回していくのか。きちんと上手く回っていくのが不安に思う。その点について伺いたい。

答 実際に行政に対して市民の皆さんの民意がきちっと伝わらない、そのことを危惧されて、やはり18名でいくべきという話もある。それは議論の中でもしっかりしてきており、議員一人ひとりがしっかり市民の皆さんの意見を受け止めて、それを議会の中で質問という形や様々な形で反映をしていく、市民生活を今後どのように作り上げていくのかも含め、2名減ったから必ずしも意見が届かないということではなく、16名になろうとも同じようにしなければならないと思っている。

◆議員活動について

意 議会がよくわからない。関心がない。議員の活動の姿が見えない。なぜかと言うと、議員が市民と直接話をしていないから。自らを支持された方と、どの程度話しているのか。単に議会の報告だけではなく、支持者と直に話をすることが大事。それが一番見えることだと思っている。月1万円の政務活動費を有効に使い、支持してもらった市民一人ひとりとの意見交換の場を皆さんがそれぞれ持つと、その積み重ねが市民に見えてくると思っている。

◆名寄振興公社について

問 名寄振興公社の問題の説明責任が全くされていない。市民に伝わってこない。北海道新聞に掲載していたと思うが、名寄新聞や北都新聞に掲載されないで道新に掲載されるということは、何となく前の支配人に被せればそれでいいように感じてしまう。その現状を聞きたい。

答 名寄振興公社の件について、この意見交換会の翌日に経済建設常任委員会が開かれ、そこで報告されることになるが、概ね道新が掲載したとおりで、7月2日に第2回の口頭弁論が行われて結審。10月1日に判決言い渡しという日程が言われたそうである。副市長には、綿密に正副議長・所管の委員会には報告をもらいたいと伝えた。今後の流れの中でどのようになるか分からないが、私達もしっかり判断をしていきたいと思うので、しばらく状況を見守ってほしい。

◆高校再編について

問 高校再編については、市議会できちんと議論して終着点を見つけたのか。市民の意見や学校の内容など全然出てこないが、議会が責任を持ってそれに対して対応したのか。

答 高校の再編については、定例会の一般質問の中でも出ており、教育長よりこれは北海道の専権事項である。市民の意見は言ってもいいですよという様な位置づけと説明を受けた。「名寄市高等学校在り方検討会議」は、そういった皆さんの意見もしっかりと反映されるようなメンバーになっていたと思う。ただ残念なのは、中学校の卒業生の半分以上が名寄市外の高校に進んでしまう。名寄の高校にない魅力が他の高校にはあるのかもしれない。市民のニーズをしっかりと私達なりに把握をして少しでも名寄の高校に進んでもらえるような取り組みを考えていかなければならない。

問 高校とは話し合っているのか。道教委と高校と両方に話かけて話を進めていくということをしてない限り平行線だと思う。高校と同じ考えを持って道教委に話しかけてほしい。

答 高校の問題については所管が違うことは理解してもらえと思う。ただ今日市民の皆さんから多くのご批判をもらったことは総務文教常任委員会で受け止めて、市長に申し入れるか、あるいは議会として市民の皆さんが懸念しているので、市民の皆さんから意見を聞く場を設けるべきだという提言はできると思うので、しばらく状況を見守ってほしい。

◆名寄市の将来展望について

問 王子マテリア(株)名寄工場が撤退する。議会として、今後どのようなまちづくりを考えているのか。

答 私達はただの追認機関だというつもりはない。それぞれの所管委員会の中で独自に調査項目を設けてそれを調査して市に提案していくという作業を進めている。それぞれの議員活動、あるいは委員活動、議会活動、将来のまちづくりについて、18人それぞれあると思うので、まとめて話すのは難しい。

問 全員でこれからのありようについて議論した経緯はないということか。

答 まちづくりの個別案件についてはそれぞれ議論するが、将来像については様々な計画がある。立地適正化とか公共施設の配置計画であるとかそういったところを私達議会としても審査をしていく。まち全体の公共施設の配置の問題などといったところはしっかりと取り組んでいきたい。

意 議会は、チェックする機関と思っている。議員として、こういうまちでなければならぬというものがあるべきではないかと思う。返答はいらないので、大いに一番市民が関心を持っているところなので、努力を重ねてほしい。

令和3年度 市民との意見交換会 アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は36人で、回答率は92.3%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①20代（0人） ②30代（1人） ③40代（2人） ④50代（3人）
⑤60代（10人） ⑥70代以上（20人） 未回答（2人）

問2 あなたの性別は？

- 男（32人） 女（4人） 未回答（2人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①初めて（2人） ②2回（8人） ③3回（4人） ④4回（1人）
⑤5回以上（20人） 未回答（3人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

（全体的に）①よかった（16人） ②ふつう（14人） ③よくなかった（0人）
未回答（8人）

（報告内容は）①わかりやすかった（10人） ②ふつう（15人）
③わかりづらかった（3人） 未回答（10人）

（意見交換内容は）①よかった（11人） ②ふつう（14人） ③よくなかった（2人）
未回答（11人）

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・参加しづらい感じはある。
- ・開催時期の検討。
- ・質問、回答方式ではなく、座談会方式も良いのではないかと思う。
- ・全議員の机の前に名前を掲示してほしい。（2名）
- ・質問、答弁の論点が整理されていないまま、やり取りしていて、他の参加者が聞きづらい。司会者側で参加者がポイントを共有できるように整理してはどうか。
- ・今後の街づくりの中心となる若い世代の参加。
- ・活動状況について、特徴的なことをいくつか取り上げて具体的に説明してほしい。
- ・各委員会報告で報告を受け審査を行い、原案のとおり可決すべきと決定し、関係部署と連携しながら取り組むとあるが、原案にどのような問題があり、委員会としてどのように提案して改正させたのかを知らせてほしい。
- ・事前に意見をもらって回答したら良い。
- ・個人的な意見が強すぎて今回はつまらなかった。終了が近づくにつれて少し交換会らしくなってきた。